

一般社団法人 ボードゲーム ボードゲームカフェ ONE

東京都豊島区西池袋 1-41-8
K's IIビル6階

会長 **岩田 慎太郎**

×

ゲスト **志垣 太郎**

(2020年2月取材)



人とのつながり、会話が楽しめるボードゲームを広め、 日本一のコミュニティをつくっていききたい

——はじめに岩田会長の歩みから。

愛知の出身で、大学卒業後、就職で東京に出てきました。社会に出て初めて就いた職業は、大手食品メーカーでの営業職でした。入社3年目からは、週末を利用してイベント企画などの副業を始めるように。人を集めてパーティをしたり、企業に転職の紹介や引っ越しの斡旋をしたり。その収入がサラリーマンの給料を超えるぐらいになったため、26歳で会社を辞めて個人事業主としてそちらの事業に専念するように。そこから事業規模を拡大し、30歳で法人化したんです。

——ボードゲームに関する事業を立ち上げられた経緯を教えてください。

私は兄弟が多いということもあってボードゲームが好きだったので、脱サラ後に「カタン」というボードゲームの大会を開催したんですね。最初は参加者8人ほどの規模でしたが、それが口コミで広がって、50～100人ぐらい集まるようになってきたため独立しました。

——ボードゲームの魅力は？

今は人と人とのつながりが希薄になり、遊びもデジタル化しているでしょう。そんな時代だからこそ、逆に人間にしかない温かい心、ヒューマニティが仕事やコンテンツに求められていくと思うんです。その点、ボードゲームは人と人とのつながりができ、会話が生まれ、人として成長もできる。それがボードゲームの魅力だと思いますね。

——これからの目標をお聞かせ下さい。

ボードゲームはUNOや人生ゲームだけではなく、たくさんの面白いものがあることを知ってもらい、広めていきたいですね。そして、日本一のボードゲームのコミュニティをつくりたい。企業としては一般社団法人から公益社団法人にして、将棋や囲碁にプロがいるように、ボードゲームのプロも輩出していきたいと思っています。また、自身の経験を活かし、副業をしたい人が独立できるようにサポートもしていきたいですね。